

【これまでの検討】 H28.4.19の第3回副首都推進本部会議で「副首都の概念」をとりまとめ

副首都・大阪の意義

「大阪から日本を変える、大阪から世界へ発信する」

東京を頂点とするピラミッド型の国土構造・社会構造・価値観を大きく転換し、わが国が抱える社会課題を解決する先導役を果たすため、東京とは異なる個性・新たな価値をもって、世界で存在感を発揮する「東西二極の一極」として、平時にも非常時にも日本の未来を支え、けん引する成長エンジンの役割を果たす

副首都・大阪が果たすべき役割

- (1) 西日本の首都
- (2) 首都機能のバックアップ拠点
- (3) アジアの主要都市
- (4) 民都

【これからの検討】上記の「概念」をもとに、具体的に副首都に求められる機能や必要な仕組みをTF（タスクフォース）で検討

- ・TFは府市の職員で構成（副首都推進局、大阪府政策企画部、大阪府政策企画室など）
- ・関係部局は個別の検討課題に応じて参画
- ・特別顧問からは必要に応じて意見・助言をいただく。また検討分野の有識者にも必要に応じて協力を求める。

TFの体制イメージ

副首都機能面検討TF

都市魅力・学術文化

(例)都市格向上、インバウンド、人材集積
情報・メディア

(例)メディア強化、海外発信、イベント開催

産業・経済

(例)拠点性の向上、イノベーション創出、投資・貿易促進

都市インフラ・防災

(例)際内インフラ強化、ネットワーク強化、首都機能バックアップ
など

副首都制度面検討TF

地方分権

(例)権限移譲、省庁等移転

行政連携のあり方

(例)連携の内容としくみ

民間活動、公益活動

(例)公民連携、第3セクター、フィランソロピー

など

TFの検討スケジュールイメージ

：TF ：副首都推進本部

5月	6月	7月	8月～9月
副首都推進局を中心に検討項目等のたたき台を検討	関係部局との意見交換など各項目の整理		TFの検討状況を本部会議へ報告 副首都化に向けた中長期的な取組み方向の中間整理案を提示 経済界からの意見聴取 議会とのディスカッション
	外部の専門家に個別ヒアリング等を実施		